

# 歯科ICTとは？

歯科治療において処置の大半は小外科といっても過言ではなく、常に血液や唾液と接触している状態です。口腔内の常在菌は300~400種類といわれ、時には肝炎ウイルス（HBV,HCV）やヒト免疫不全ウイルス（HIV）が含まれる可能性もあるわけです。また唾液1ml中の細菌数は**1億個**越え。健康人の1日の唾液分泌量が1500mlですから、掛け算すると！！！！考えたくない数字になりますね。

さらに、歯科治療の対象が歯の硬組織や骨組織であるため、歯科特有の鋭利な器具（バーやポイント）を装着し高速回転機器（タービンやエンジン）で硬組織を切削する治療が中心となり、時に血液・唾液の飛沫を招くことを考えるとき、歯科治療はその特殊性を十分考慮して **Infection Control** する必要があります。

歯科診療部では2003年にCDCから勧告された『**歯科のための感染対策ガイドライン**』を遵守しようと様々な感染予防対策に取り組んできました。既刊号でも紹介された、口腔外バキュームの導入、ディスポーザブル製品への移行。また、紹介されてはいませんが切削器具の滅菌パック化・使用済み器具、器材のより速やかな処理方法等々大きなところから小さなところまで！

ここでは、患者様や部外者の方が見ても一目でわかる対策を紹介したいと思います。写真は血液・唾液の暴露を考慮した、歯科医官と歯科衛生士の診療スタイルです。さて、対策前と対策後の違いはどうでしょうか？



\*答え\*

	変更前	変更後
歯科医官	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白衣または外衣の交換は週 2 回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白衣はスクラブに替え毎日交換、外科処置や感染症患者様の処置はディスポのガウンを着用。</li> <li>・ 診療室から離れる時は外衣をはおる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帽子、ゴーグルの着用は個人の判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帽子、ゴーグルは検診をのぞき総員着用</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シューズの形は個人の判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シューズは足全体を覆うものに変更</li> </ul>
歯科衛生士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白衣の交換は週 2 回。カーデガン着用、洗濯は個人の判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白衣の上に予防衣を着用し毎日交換。</li> <li>・ 診療室から離れる時、予防衣は外す</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帽子・ゴーグルの着用は個人の判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴーグルは検診をのぞき総員着用。</li> <li>・ 帽子は検討中！</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シューズの形は個人の判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シューズは足全体を覆うものに変更</li> </ul>

ICT 新聞 12 号 (H20.12) より抜粋